

科目名・単位数	経営組織論 2単位	科目分類	経済・経営系	発展科目
配当年次	1年次・秋学期・昼・夜	担当教員	むらた だいがく 村田 大学	
履修形態	選択			
授業概要	<p>経営管理の方法は、これを実践する場である組織の理解の仕方によって、大きく変化する。組織と管理についての理解を深めていく。経営組織論には抽象的で難解な理論も多いため、我々の身近に起こっている具体的事例を多く用いて難解な理論を出来るだけわかりやすく説明していく。講義の内容は学生の関心や理解度など必要に応じて変更することがある。また、状況に応じてLTDなども実施することがある。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が、経営組織論の基礎的な知識を体系的に理解できるようになる。 2. 学生が、経営組織論の基本的かつ本格的な概念や理論を理解し、説明できるようになる。 			
授業方法	<p>講義形式で授業を進めていく。経営組織論の基本的分析枠組みの理解を中心に行うが、新しい経営現象についても話題や事例研究として取り上げる。状況に応じてLTDなども実施することがある。</p>			
事前・事後学習	<p>事前学習は、テキストを精読し、各授業の前に経営学辞典等で専門用語を調べておく(120分)。事後学習は、講義の内容をノートにまとめておく(120分)。手書きのノートは授業内テストの際に持ち込み可となる。</p>			
成績評価の方法	<p>授業内テスト 60%、レポート 30%、授業への貢献度 10%</p>			
フィードバックの方法	<p>レポートは気づいた点、問題点など口述する。</p>			
履修上の注意	<p>受講者には毎回出席するよう要望する。復習に時間をかけ、とくに図書館で資料を集めるなどしながら、ノート作りに力を入れること。</p>			
授 業 計 画				
第1回	<p>ガイダンス 授業の進め方、到達目標、成績評価基準などについて説明する。 授業の基礎となる導入部分について、企業の事例を取り上げながら解説する。</p>			
第2回	<p>経営組織の特徴と基礎概念：基礎概念と経営組織論の歴史 組織、人間仮説、協働体系、古典的組織論、人間関係論、近代的組織論 経営組織論を学んでいく上で必要な基礎知識を説明する。</p>			
第3回	<p>経営組織の基本形態 ライン組織、ライン・アンド・スタッフ組織、事業部制組織、マトリックス組織 経営組織の基本形態について説明する。</p>			

第4回	経営組織の発展形態 SBU、プロセス組織、フロント・バック型組織、ネットワーク組織 経営組織の発展形態について説明する。
第5回	ウェーバーの官僚制組織論その1 歴史観、人間観、合理性、近代官僚制組織の特徴 伝統的な組織論であるウェーバーの理論を解説する。
第6回	ウェーバーの官僚制組織論その2 支配の三類型、近代資本主義の進展と近代官僚制組織 伝統的な組織論であるウェーバーの理論を解説する。
第7回	ホーソン実験 継電器組立作業実験、面接実験、非公式組織 ホーソン実験の背景、内容、結果などについて解説する。
第8回	レスリスバーガーの人間関係論 技術的組織、人間的組織、非公式組織 伝統的な組織論であるレスリスバーガーの理論を解説する。
第9回	バーナードの組織論その1 個人と協働の理論、協働体系と組織 伝統的な組織論であるバーナードの組織論を解説する。
第10回	バーナードの組織論その2 組織の成立と存続、複合組織、権威受容説 伝統的な組織論であるバーナードの組織論を解説する。
第11回	サイモンの意思決定論その1 記述的意思決定論、経営人仮説、意思決定過程 伝統的な組織論であるサイモンの組織論を解説する。
第12回	サイモンの意思決定論その2 意思決定と組織の階層性、調整と統合 伝統的な組織論であるサイモンの組織論を解説する。
第13回	モチベーション理論 マズローの欲求段階説、マグレガーのX理論とY理論 モチベーション理論のうち主要理論を解説する。
第14回	組織変革のリーダーシップ論 特性理論、行動理論、状況適合理論 リーダーシップ論のうち主要理論を解説する。
第15回	授業内テストおよび総括
テキスト	佐久間信夫・小原久美子編著『現代経営組織要論（経営学要論シリーズ7）』創成社、2017年。
参考図書	佐久間信夫・大平義隆編著『新 現代経営学』学文社、2016年。 佐久間信夫編集代表『増補版 現代経営用語の基礎知識』学文社、2005年。